

令和6年度（令和7年4月入学）

入学のしおり

（説明会資料）



東京都町田市立忠生小学校

所在地 東京都町田市忠生3丁目10番2号

電話 (042) 791-1021

目 次

1	忠生小学校の教育目標	3
2	忠生小学校の概要	3～5
	1) 週時程表	
	2) 主な行事	
	3) 一年生の学習	
3	入学前の諸準備	6～9
	1) 入学前の大切なしつけ	
	2) 登下校について	
	3) 学用品について	
4	保健について	10～12
	1) 保健室について	
	2) 病気の時	
	3) けがをしたとき	
	4) 健康調査票について	
	5) 伝染病・感染症にかかったとき	
	6) 衣類等の貸し出しについて	
5	入学後の諸経費について	12
6	就学援助費等について	12
7	給食について	12～13
8	特別支援教育について	14

1 忠生小学校の教育目標

よく考えくふうする子

思いやりのある子

つよい心と体をもつ子



2 忠生小学校の概要

忠生小学校は、大正元年に開校された。校地面積14,228㎡(4,311坪)、校舎面積3,050㎡(924坪)。

教職員は校長、副校長、主幹教諭、主任教諭、教諭、養護教諭、事務主事、栄養士、講師、特別支援教育支援員、図書指導員、学校支援ボランティアコーディネーター、管理員、給食調理業務、小学校用務業務

児童数および学級数は次のとおり

(令和7年1月6日現在)

学年	1	2	3	4	5	6	いずみ	くわのみ	合計
児童数	68	70	66	84	60	59	19	7	433
学級数	2	2	2	3	2	2	2	2	17

1) 週時程表

		生活時程表			町田市立忠生小学校	
		月	火	水	木	金
8:25		学級指導	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
8:30						
8:45		児童朝会(月1回) モジュール国語(3~6年)	モジュール国語 (3~6年)	モジュール国語 (3~6年)	モジュール国語(3~6年) たてわり班・児童集会	モジュール国語 (3~6年) ※2年生3学期のみ
		授業準備 (専科移動)	授業準備 (専科移動)	授業準備 (専科移動)	授業準備 (専科移動)	授業準備 (専科移動)
8:50		1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目
9:35		5分休み				
9:40		2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目
10:25		中休み(15分)				
10:40		3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目
11:25		5分休み				
11:30		4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目
12:15		給食(40分)				
12:55		昼休み(15分)			昼休み(15分)	
13:10		清掃(15分)			清掃(15分)	
13:25		5時間目□	5時間目		5時間目	5時間目
14:10		5分休み	5分休み		5分休み	
14:15		6時間授業 14:15~15:00 委員会	6時間目		6時間目	
15:00		14:20~15:05 クラブ				
15:30		14:20~15:20				
★最後の授業終了後、15分以内に下校する。20分後には完全下校する(門を出る)						

2) 主な行事（予定）

行 事
始業式、入学式、保護者会、一年生を迎える会、交通安全教室、引き取り避難訓練、生活科見学、水泳（プール）、個人面談、学校公開、セーフティ教室、終業式、夏季休業日、こどもまつり、学校公開、運動会、授業参観・保護者会、校外学習、終業式、冬季休業日 道徳授業地区公開講座、作品展、六年生を送る会、卒業式、修了式、春季休業日

* 詳しい日程は、入学後に配布される資料でご確認ください。

* 土曜日に登校する日は、4月以降に配布される年間行事予定をご覧ください。

* 行事及び時程については変更の可能性があります。

3) 1年生の学習（令和6年度）

①一週間に学習する教科と時間数（学期によって多少変更あり）

国語（9） 算数（4） 生活（3） 音楽（2）

図工（2） 体育（3） 道徳（1） 学級活動（1）

英語（年間6）

②一週間の授業時間数（予定）

	月	火	水	木	金
1学期	4	5	4	5	4
2学期	5	5	4	5	4
3学期	5	5	4	5	5

* 一単位時間は45分です。

* 生活指導補助者の方が1名、各学級に年度当初のみ入ります。

* 一週間の授業時数は、行事等の関係で変更になる場合があります。

詳細は毎月のお知らせをご確認ください。

3 入学前の諸準備

(1) 入学前の大切な躰(しつけ)について

こんなことができるように声掛けをお願いします！！

～身の回りのこと編～

- 決まった時刻に起きたり、寝たりできる。
- トイレの正しい使い方ができる。(和式トイレも使えるように)

★大便是、登校前になるべくすませるように習慣付けてください。

- 衣類の着替えと後始末ができる。
- 洗顔・手洗い・歯磨きができる。
- 自分の持ち物は自分で整理整頓できる。
- 傘の開閉、ひもでまとめてとめることができる。
- 好き嫌いをせずに座って食べる。

★給食を15～20分で食べ終われるように、少し早く食べ終える練習をお家でもお願いします。

～周りの人と関わること編～

- 名前を呼ばれたら返事ができる。
- 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」などの挨拶ができる。
- 静かに人の話を最後まで聞くことができる。
- 自分の名前(ひらがな)が読める。★姓名を言える。
- 「トイレに行きたい」「～がしたい」など、したいことや、困っていることを言葉で伝えることができる。
- わがままを通そうとしない。例えば、順番を待つことができる。友達の話をおしゃべりをしない。

～安全に注意すること編～

- 学校から家までの道を覚えている。
- 知らない人に声をかけられてもついていかない。
- 通学路を守って、寄り道をせず、まっすぐ家に帰る。

(2) 登下校について

- 集団登下校は行いません。ご家庭で通学経路をはっきりと決めて、一人でも登下校できるように練習してください。また、入学前に右側通行（歩道・白線のあるときは、その中を通ること）、信号機の見方、横断などの交通ルールを確認してください。
- 昇降口は、8時15分に開きます。8時15分には昇降口に着くように登校してください。誘拐などの事件や交通事故防止のために、なるべく近所のお子さんと誘い合わせて登下校してください。
- 遅刻・早退のときは、保護者の付き添いが必要です。
8時30分を過ぎる遅刻の場合は教室までの付き添いをお願いいたします。（校舎裏の門、職員玄関を使用してください）
- 入学当初は、下校の際にリボンの色ごとのグループで分かれて、途中まで担当の教員が送ります。

- ・ 正門から下校 → 赤色
- ・ プール門から下校 → 水色
- ・ 歩道橋門から下校 → 黄色
- ・ 学童 → ピンク

※学童に通う子は、門のリボンと学童のリボンの2種類を付けます。

(3) 学用品について

学習用具は、単純な構造で飾りがなく実用的なものをご用意ください。
すべてに氏名（ひらがな）を記入してください。

～ご家庭で用意していただく物～

- ・ ランドセル（色等、特に指定はありません。）
- ・ 筆箱（シンプルな箱形のもの・無地で鉛筆削りの付いていないもの）
※鉛筆は基本的に毎日、家で削るきまりです。
- ・ 鉛筆（2B－4本）（シンプルで、絵が描いていないもの）
- ・ 赤鉛筆・青鉛筆（1本ずつ）赤と青が1つになった鉛筆でも構いません。
- ・ 消しゴム（白いもの）
- ・ 下敷き（無地）
- ・ はさみ（利き手に合わせたもので、刃先にカバーのあるもの）
- ・ 上履き（特に、デザイン指定はありません。サイズの合った物をお願いします。）

- ・上履き入れ（ひも式のもの）
- ・黄色い帽子（全周につばのあるもの）
- ・防災頭巾（背もたれ式のカバーを着けてください。） 下図参照
 ※布製の頭巾は使いにくいようです。
 ※椅子に上からかぶせるタイプが、椅子から落ちにくく望ましいです。
- ・体育着（丸首の白半袖体育用シャツ・紺色のハーフパンツ）
- ・体育着袋（ひも式のもの）
- ・給食セット（口拭きタオル・ランチョンマット・マスク・給食当番用帽子
 →PTA からの祝い品として配布されます。）→これらが一緒に入る袋
- ・体育の赤白帽（つばあり）
- ・布製手提げバッグ
 （図書室で借りた本や荷物を運ぶため2枚以上あると便利です。）

②学校で共同購入する物

ノート（国・算・自由帳）、プラスチック色鉛筆、オイルパステル、粘土、道具箱、連絡帳、連絡袋、のり、セロテープ、名前シール（学校で購入したものに記名をする際に使います。）

★後日、登録した銀行口座より、購入代金の引き落としがあります。

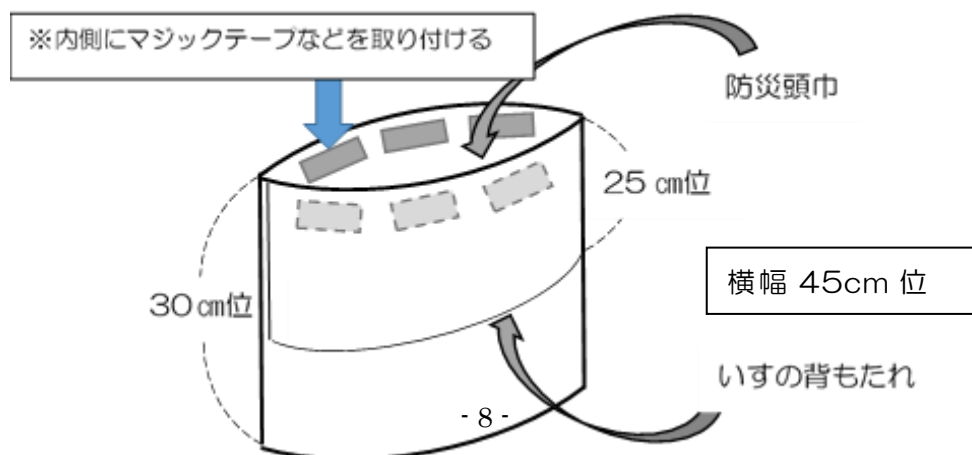
③入学後、担任からの連絡があったときに、用意していただく物

鍵盤ハーモニカ、絵の具セット、水着など

（鍵盤ハーモニカは32鍵のものを使用します。絵の具、鍵盤ハーモニカに関しては、学校を通して購入することができます。）

★教科書は、無償で給与されます。

☆防災頭巾カバーの作り方の例（背もたれ式カバー付きのものも市販されています。）

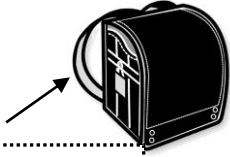


おねがい

※名前の付け方は下図を参考にしてください。

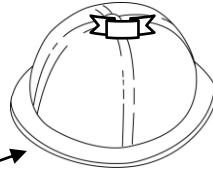
- ☆ 持ち物には、すべて、ひらがなで学年・組・名前を書いてください。
- ☆ 分かりやすいように、名前は大きく、外側に付けてください。
- ☆ 給食セットについては、13ページをご覧ください。

ランドセル



背中に名前

通学帽子

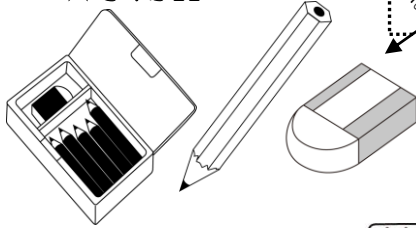


通学路別の
リボン

リボンは入学前までに
縫い付けておいてく
ださい。

内側に名前を
書く。ゴムを
付ける。

☆学用品

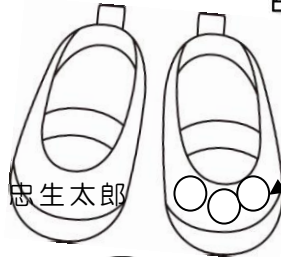
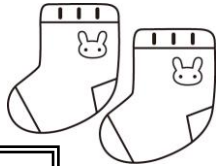


本体にも名前
を書く。

一本ずつに名前を書く。



名前を必ず
書く。



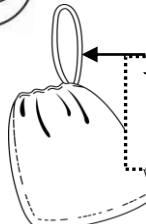
かかととつま先に
名前を書く。
(大きめの字で、か
かとは苗字、つま先
はフルネーム)



ハンカチ



☆上履き入れ
細い紐でかけ
られるタイプ

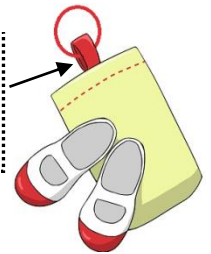


ハンカチ、靴下、下
着にも名前を書く。

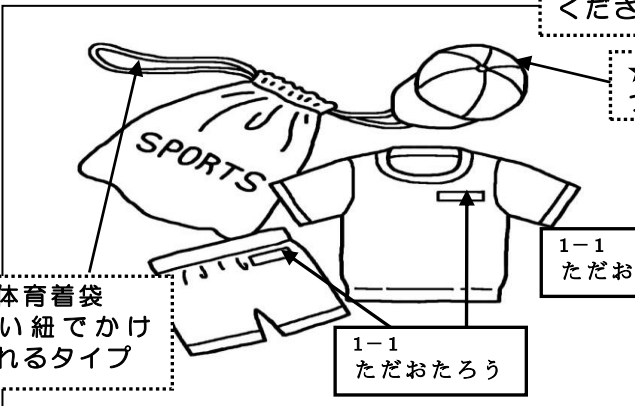


およそ30×40×10 複数枚

このタイプの上履き入れ
は、フックから落下しやす
いので、細い紐をつけて
ください。

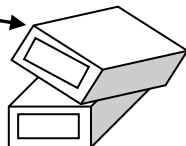


☆体育着



☆赤白帽子
つば付き・ゴム付き

ねん土箱は、
入れ物とふた
どちらも横側に
名前を書く。



☆体育着袋
細い紐でかけ
られるタイプ

1-1
ただおたろう

1-1
ただおたろう

1) 保健室について

● 健康診断や健康相談をします

- 4月から6月にかけて定期健康診断があります。提出物も多数ありますので保健日より等を確認し、期日を守ってください。
- 健康診断で病気などが見つかったときには、「**健康診断結果のお知らせ**」を出します。早めに医療機関を受診し、治療が済みましたら、「**健康診断結果のお知らせ**」を学校に提出してください。(未提出の場合、疾病・症状によってはプール等の参加が難しいときがあります。)
- 健康診断の結果については、1学期修了式に通知表ファイルの中に入れて、プリントでお知らせします。1月計測終了後に「1年間の成長のようす」をプリントでお知らせいたします。
- 就学援助が認定された方には、指定された疾病に限り、市より医療費補助があります。(入学後、配布されるプリントにて詳細確認ください)
- 就学時健康診断で、治療の勧めをうけた病気(むし歯等)がある場合には、入学までに治療を済ませておくようお願いいたします。
- お子さんの心身のことで気になることなどありましたら、ご相談ください。

● 出欠席・疾病状況など、健康管理をします

- 欠席・早退は、理由も含め、teturuまたは連絡帳で担任までお知らせください。
- 朝は(顔色、食欲、疾病症状の有無など)登校前の健康観察をして、体調の悪い時・感染症流行期は、無理をせず自宅安静をさせてください。
- 感染症予防のために、ハンカチ・ティッシュを持参すること、感染症流行時は室内でのマスク着用などを励行しています。また、マスクは予防効果の高い不織布マスクをお勧めします。マスクは、なくしたり破けたりすることがあるため、ランドセルに予備のマスクを必ず入れるようにご協力ください。

● 急なけがや病気の応急処置をします

- 状況・経過観察・受診の勧めなど、必要に応じて家庭連絡をします。

2) 病気のとき

- 病気のときは、1時間を目安に安静休養をとり様子をみますが、状況により早めのお迎えをお願いする場合があります。症状が軽減したら、学習を続けますが、発熱や症状が軽減しない時は早退とし、家庭連絡をします。お迎えをお願いします。不調児童のみで早退することはしません。
- 副作用などの問題から、内服薬の常備はなく、投薬はしません。

3) **けがをしたとき**

- 学校管理下のけがに対し、応急処置をします。絆創膏や湿布の交換など翌日以降の継続的な手当では家庭でお願いします。
- 緊急を要する処置の場合、学校から直接医療機関へ行くこともあります。受診の際は保険証等を準備していただき、保護者の同伴をお願いします。
- 以下の2つの制度については、入学後配布のプリントにて詳細をご確認ください。

→治療費が保険点数で500点以上(保険証使用で1500円以上)の場合・・・

日本スポーツ振興センター (医療給付金が支給される制度)

→入院した場合・・・**学校災害補償保険**

4) **秘健康調査票について**

- 「**秘健康調査票**」は、心臓病、腎臓病、けいれん疾患、喘息、アレルギーなどの既往症・予防接種状況・緊急連絡先などをご記入いただきます。学校生活で配慮の必要なことがありましたら、連絡事項欄に詳しくお書きください。

●急な発熱やけがなど、学校から緊急に保護者へ連絡する場合の連絡先として、**自宅や携帯・勤務先など第1～第3連絡先**まで、必ず3箇所ご記入ください。

→年度途中で連絡先変更があった場合は、随時お知らせいただき、緊急時に保護者と連絡が取れないことがないように、ご配慮をお願いします。

→6年間使用し、学年が上がる度、返却・記入していただくようになっていきますので、毎年、確認と加除訂正をお願いします。

5) **伝染病・感染症にかかったとき**

- 学校伝染病にかかったら、早期回復・感染防止のため、出席停止となります。下記の市指定11の伝染病にかかった時は、学校から『**登校許可証**』を受け取り、医師より登校許可の記入をいただき、登校時に提出してください。(町田市医師会会員の医療機関では無料ですが、町田市以外では文書料として有料になる地域があります。)

【『登校許可証』の必要な11の伝染病】

- ①百日咳 ②麻疹 ③流行性耳下腺炎 ④風疹 ⑤水痘 ⑥咽頭結膜熱
⑦結核 ⑧髄膜炎菌性髄膜炎 ⑨流行性角結膜炎 ⑩急性出血性結膜炎
⑪溶連菌感染症

- その他の感染症(コロナ・インフルエンザ・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎等)にかかったときは、『**登校報告書**』を保護者記入の上、登校時に提出してください。

→『登校報告書』は学校より受け取るか、本校HPよりプリントアウトしてください。

6) 衣類等の貸し出しについて

- 洋服を汚したときや排泄に失敗したときには、衣類等の貸し出しをします。下着は、新品を使用しますので、新品をお返してください。洋服や靴下等は洗濯をしてお返してください。

5 入学後の諸経費について

- 1 教材・その他学用品、校外学習の交通費等は、原則、登録した銀行口座より引き落としとなります。
- 2 給食費 完全無償化のため、保護者負担はありません。
- 3 PTA会費（一世帯年間）1300円（予定）

6 就学援助費等について

町田市では、お子さんを小学校に就学させることに経済的に困難な家庭の保護者に、給食費・学用品費など学校でかかる費用の一部を援助する制度があります（所得の制限があります）。申請書は入学式でお配りする予定です。詳しくは教育委員会学務課（724-2176）まで、お問い合わせください。

7 給食について

- 1) 1年生の給食は、4月中旬から始まる予定です。
- 2) 給食費について
完全無償化のため、保護者負担はありません。食物アレルギーなどの理由により、給食を喫食できない方につきましては、別途お知らせいたしますので、栄養士にご相談ください。
- 3) 給食配膳用の白衣（給食当番のみ）と給食帽子（全員）
白衣は学校に用意してあります。給食当番になると週末に白衣を持ち帰りますので、洗濯しアイロンがけをして、週明けに持たせてください。また、ほころびやボタンが取れていましたら簡単な補修をお願いします。
給食時間中は帽子が必要です。アタマジラミの発生等も懸念されますので、個人持ちにさせていただきます。今年度はPTAよりお祝い品として一人一つ配布されます。手作りされたい方は、13ページ下の、型紙・作り方をご覧になり給食開始までにご用意ください。

4) 給食セット (マスク・ランチョンマット・口拭きタオル・給食帽子)

毎日清潔なものを持たせてください。ランチョンマット (ナプキン) は 35cm 角以上を推奨しています。手や口が汚れた時に使用するタオルもご準備ください。また、食事の前には手洗いを必ずしますので、ハンカチも用意してください。給食当番以外でもマスク・給食帽子は使いますので、必ず毎日準備をお願いいたします。

5) 給食時間

12時15分～12時55分までの40分間で、準備から後片付けまでを含みます。30人以上の給食の準備には、かなりの時間がかかります。食べる時は集中して食べ、15分くらいで食べられるようにしておいていただけますと助かります。

食器は割れにくい PEN 樹脂食器です。日頃から食器を運ぶなど家の手伝いをさせてください。

お箸の持ち方や、ご飯・汁物を盛り付けるお手伝いをさせてください。

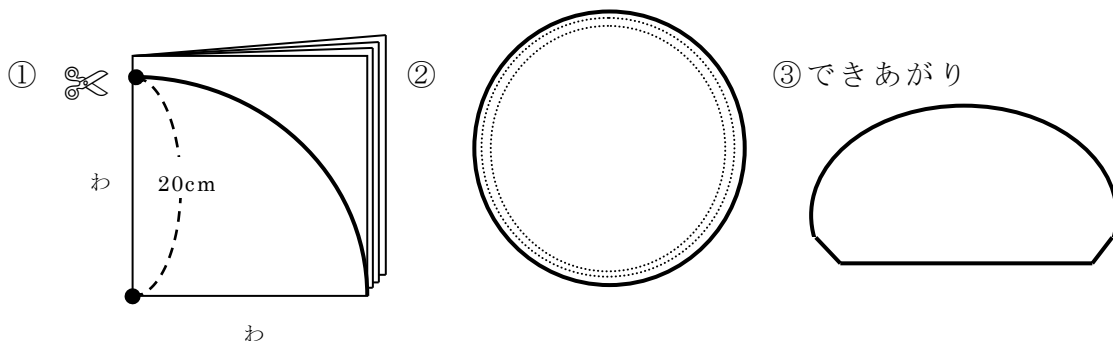
6) 食物アレルギー

給食において食物アレルギー対応を要する児童に対しては、医師による「学校生活管理指導表」の提出をお願いしています。その記述内容をもとに面談を行い、学校と保護者で共通の理解をもって対応を決定していきます。

給食では、旬の果物やししゅも、ごま、ちりめんじゃこなどが出ます。給食で初めて食べてアレルギー症状が出ることはないよう、ご自宅で食べてください。給食で心配なことがありましたら、栄養士にご相談ください。

給食用帽子の作り方 ※市販のものでかまいません。

- ① 布を直径 40cm の円に切る。(バンダナを利用すると便利)
- ② 布の端をゴムが通る程度の三つ折にして縫う。(ゴム通しの穴を開けておくのを忘れない)
- ③ ゴムを通す。



8 特別支援教育について

困っていること、困難なことに気付かれにくい子供への支援

特別支援教育は、特別な子供だけが受けられる支援ではなく、だれもが受けることのできる支援です。学校・教室には、さまざまな支援を必要とする子供たちがいます。その中で、目に見える行動特性や行動が目立っても、とらえ方や対応に誤解を受け、本人がかかえているつらさや困難には気付かれない子供たちも多くいます。

例えば、

- 落ち着きがなく常に足を動かしている。
- 手いたずらが多い、すぐにキョロキョロとする。
- 話し言葉が流暢でない。
- 幼稚園・保育園・学校などの大勢がいる場所では話すことができない、あるいは、大勢の人の中になかなか入れない。
- 「例えば」の話が通じない。「例えば〇〇さんはかっこ悪いと言われたら」の言葉に反応して怒る。

これらのことは、いずれも目に見える特徴的な行動特性、症状は気付きやすいものです。

しかし、そのきっかけや要因について、気持ちのもち方ややる気の問題、意識すれば治せるなどにとらえてしまうと、本人に頑張りを強いるというだけの対応になってしまいます。本人のつらさ、困難さがますます増えるばかりで改善の方向に至らなくなる場合があります。要因や背景は明らかになっていない面も多く、生まれつきの気質や生活環境による心理的な要因、脳の神経伝達機能の不全、自閉症や ADHD などの発達障がいとの関係があることも少なくありません。

いずれにしても、本人の気持ちや意識の持ち方だけでは改善が難しく、医療的な対応との連携とともに、学校生活では心理的、教育的な対応に十分な配慮が必要となります。

忠生小学校では、子供たちが安心できる人間関係、情緒が安定する場の確保、スクールカウンセラーや教育センターとの連携、学校と家庭、医療機関との連携による支援を担当が一人で抱えるのではなく、校内スタッフ間の共通理解と一貫した対応を行い、組織的、計画的に特別支援教育に取り組んでいます。お子さんのことで気になることがある場合には、いつでも相談にいらしてください。